

就職準備 = 普段の取り組み！

高校生の就職説明会で企業の人事担当者から求められることも、A型、B型事業所から求められることも、本校小学部から設定される生活目標も、年齢などにより若干違いはありますが、基本的には同じです。たぶん「先生方はいつも同じことを言ってるな～」と思われるかもしれませんが・・・(笑)

いつもニコニコ笑顔。休まず元気。会社の方々には毎朝自分から挨拶。相手の名前を覚える。仕事を指示されたら素直に聞いて集中して取り組む前向きな姿勢。休み時間には他の職員と一緒に過ごしたり話したりする・・・。どうでしょう？ いわゆる“愛されキャラ”なのかもしれません♪

“愛されキャラ”って、なろうと思ってなれるものではありません。そんなキャラじゃなくとも、普通に日々積み重ねていけば、実習先から「～高校よりも黒養の生徒の方が挨拶や返事、仕事の姿勢が良い！」と褒められますし、素直で前向きな生徒なら「先生、仕事は3年くらいかけて覚えればいいよ！採用するよ！！」と言われることもあります。逆に「先生、挨拶もできない生徒をどうして実習に寄越したの？」と叱られることも・・・。「現場実習の時はがんばる！」っていうのはバれますし!?続きません・・・。

社会から求められること

自分から笑顔で挨拶

素直で前向き、協力的

時間を守る、休まない、元気

自分からお礼、謝罪、依頼

お金を稼ごうという強い気持ち

在学中にできるチェックポイント

家族に自分から挨拶できていますか？

指示や注意に素直に従えますか？

決まった時刻に自分で寝起きしていますか？

自分から「ごめんなさい」が言えますか？

こづかいで買い物できますか？

明日につなげるためのチェック！「一人で寝て、起きられる？」

養護学校では、反抗期らしい反抗期が無く高等部卒業を迎える生徒もたくさんいます。「子どもだからまだ大丈夫」「嫌がらないから、まだ・・・」「新しいことをやろうとすると大変・・・」と幼児期からの習慣がずっと続いてしまったまま18歳(成人として高等部卒業)を迎えることになります。

今回とりあげるのは「就寝と起床」です。①を目指して1つずつステップアップしてみませんか？

- ① 毎日決まった時刻に自分で起きられる(目覚ましなど可)。
- ② だいたい決まった時刻に自分で起きられる(目覚ましなど可)。
- ③ 自分では決まった時刻にはあまり起きられない。家族が起こすと素直に起きる。
- ④ 決まった時刻にはほとんど起きられない。家族が起こしても時間がかかる。
- ⑤ 決まった時刻に起きられない。親と一緒に寝ているので親のタイミングで起きている 等。



就寝も同じように考えてみましょう。朝、起きられないなら“早く寝る”“決まった時刻には寝る”ところから始めましょう。一人部屋がない場合、親も一緒に遅くまで起きているから・・・ということもあります。“カーテンを開ける係”“新聞をとる係”“ゴミ出しを一緒にやる”等、チョットだけ始めてみませんか！

質問記入欄

質問などあれば記入欄を切り取って、担任に提出してください(担任 ⇒ 左川)